

急変時の対応 BLSとAED

ねらい：一時救命処置の意義を理解し、理論に基づいた技術と冷静に対応できる態度を学ぶ

講師：救急看護認定看護師
上川 智彦(4B病棟)

CPA 発見!!

こんな時は・・・
そうだ！159!!
(院内ホットライン)

急変だあ!

次に循環見るんだよな ↓

↑ まず、呼吸

ショック!

有効な胸骨圧迫 ↓

AEDも届き人も
集まったぞ!!

心拍再開
よかったね♡

呼吸も循環も
これではっちり★

研修感想：4B 病棟

大柴・鈴木・手塚・両角

急変時の観察ポイントや報告の仕方について学び、実際に演習も行ったことで緊張感を感じながら楽しく学ぶことができた。

研修を終えた今後の課題として、日々、観察力を鍛えることや生体モニターなどもしっかり観察し、小さな変化を察知できるように臨んでいきたい。また、体調の良い患者さんであっても、急変することがあるという危機意識を忘れずに取り組んでいきたい。

